

## 推薦入学選考Ⅱ期 国語「基礎学力調査」

【一】 次の文章を読み、後の問い（問一～十二）に答えなさい。

南アジアをフィールドにして二〇年あまりの間、期間の差はあれ、それぞれの国のシユ都(7)に滞在し、その多言語ぶりを実感してきた。そこでは、一人の人間が二つ、三つ、時にはもっと多くのことばを、場と相手に応じて巧みに使い分けているのだ。別に特別なことではない。教育の有無にかかわらず、ほとんどの人々が程度の差はあれ、多言語話者なのである。学生時代の私は、「この人の母語は、一体何なんだろう？」とよく思ったものだった。実際に尋ねてみたことも何度かある。すると返ってきた答えがふるっていた。「ネワール語だよ。しゃべれないけど」とか、「タミル語さ。僕はタミルだから。でも、家では英語で、学校はシンハラ語。タミル語はできないんだ」といったもの。「母語？英語よ」というインド人の友人に、「英語はイギリス人が残っていたことばでしょ」と言うと、「英語は私のことばよ」という答えが返ってきて、「ヒンディー語は読めないのよ、わかるけど」と付け加える。

I

こうして、私の南アジア体験は、日本の大学で学んだ近代言語学の常識を次々と覆していった。それまで人は母語を使って暮らしているものだとばかり思っていたし、私が学んだヨーロッパ産近代言語学では、母語がしゃべれないなどというこ

とはあるはずがなかった。けれども、ここでは事情が違う。(2) そもそも、場と相手と話題と、その場のメンバーと、Aさんには関係あるけどBさんには関係ない話題だから……といった事情など、実に様々なことを考<sup>(1)</sup>りヨに入れて、なに語を使うかを瞬時に選んでいる多言語社会の人々の日常は、言語学が教える硬直した母語概念や無条件の母語賛美、ことばは学校で文法から勉強するものだという言語習得にまつわる通念、そして、バイリンガルは特別だという日本人の言語感覚を吹き飛ばして余りあるものだったのだ。

## II

けれども、そんなわが娘も日本で暮らすようになって、これまたあつという間に日本語、それも山口ことばだけを話すようになった。「バイリンガリズムとは決して固定された概念ではなく、言語使用状況の一つの状態ではない」という本誌八月号の澁谷智子氏の指摘は、まったくそのとおりだと思う。氏が言うように「一方の言語のポウ却<sup>(7)</sup>やモノリンガルへの移行もバイリンガリズムの一面」であり、これをひっくり返せば、

A

可能性をもっているのである。

## III

知り合いに日本生まれ日本育ちで、日本人の父親とドイツ人の母親をもつ人がいる。本人は日本人のつもりなのかもしれないが、初対面の人からはよく「日本語お上手ですね」と褒められるらしい。明らかに日本人扱いされていない。おまけに、ドイツに行けば行ったで、「ドイツ語お上手ですね」とも言われるという。このセリフは、褒めている当人たちは気づいていないだろうが、要するに「あなたはへわれわれ」のことばが上手だ」と言っているのであって、そこには「あなたはへわれわれ」の仲間ではない」という含意<sup>(4)</sup>がある。

この場合、日本語とドイツ語という点が重要である。どちらの言語も、「一言語一国家」という近代の言語イデオロギーを徹底的に追及してきた日本とドイツの国家語だからだ。「一言語一国家」を理想とする社会では、バイリンガルな人間は胡散臭い。かつて帝国の言語でもあった日本語とドイツ語という、実に絶妙の組み合わせのなかで生きる彼に対し、どちらの国家語も、その言語共同体の主流を生きる人々の口を借りて、「おまえはどっち側なんだ」という問いを暗黙のうちに突きつけている。こんなふうにして、たった一つの言語の選択を迫るのは、日本やドイツのような、人々が単一言語国家を想定して暮らしている社会の特徴だろう。もし彼が南アジアで生まれ育っていたなら、二つの言語を話すことをとやかく言われることはあるまい。

人々が複数の言語を使いながら生活している社会、すなわち多言語があたりまえの社会では、母語もバイリンガルも「一言語一国家」を信ボウする社会<sup>(1)</sup>のように、特別な意味<sup>(6)</sup>をもたない。だから、「おまえはどっち側なんだ」という問いもなければ、ある言語と宿命的に運命を共にしなければならぬ義理もない。そもそも南アジアの言語<sup>(7)</sup>争は、ヨーロッパ産近代言語 B を導入した<sup>(8)</sup>がためのものである。多言語話者が多言語話者のまま、「たった一つの私のことば」母語<sup>(9)</sup>を選ばなくてもいい多言語社会とは、逆説的に言えば、「自分のことば(たち)」を自分で選べる、しかも暮らし方や環境によって何度でも選びなおせる、そんな社会なのだろう。

〔月刊言語〕所収 山本真弓「ことばを選ぶ(母語) 神話から解放されるために」より

〔問一〕 二重傍線部(ア)～(オ)に必要な漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中から、それぞれ一つずつ選びなさい。

(ア) シユ都

- ① ベニを薄く塗る。
- ② 裁判官がシユ文を読み上げる。
- ③ 当初のシユ旨に沿っている。
- ④ 会社をクビになった。
- ⑤ タグイ稀なる品種だ。

(イ) 考リヨ

- ① 口傍の石。
- ② 彼はロン客だ。
- ③ 遠リヨはいらないよ。
- ④ ブドウのフサをちぎった。
- ⑤ いい伴リヨに恵まれた。

(ウ) ボウ却

- ① 脳裏からワスれ去った出来事。
- ② 宅ハイ便が届いた。
- ③ 我が社の存ボウに関わることだ。
- ④ 物思いにフケる。
- ⑤ 尊厳をボウ瀆する行為。

(エ) 信ボウ

- ① 育児をホウ棄した母親。
- ② 税金をオサめる。
- ③ 民族間の衝突をオサめた。
- ④ 父からの一ボウが届いた。
- ⑤ 社でホウ納相撲が行われた。

(オ) フン争

- ① 朝から舞い散るコナ雪。
- ② ブ骨な男。
- ③ ギリシャで内フンが勃発した。
- ④ 身フンをわかまえよ。
- ⑤ 田中さんは孤軍フン闘していた。

〔問二〕 傍線部(1)「巧みに」を他の言葉に言い換える場合、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 素っ気なく
- ② 堅苦しく
- ③ 華々しく
- ④ 何気なく
- ⑤ 器用に

〔問三〕 傍線部(2)「ここ」が指すものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 筆者の南アジアでの体験
- ② 近代言語学の常識
- ③ 母語を使って暮らすこと
- ④ ヨーロッパ産近代言語学
- ⑤ 母語がしゃべれないこと

〔問四〕 傍線部(3)「硬直した母語概念」とはどのようなものか。次の①～⑤の中から、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 母語への愛着心
- ② 母語を話すことへの嫌悪感
- ③ 母語に対するありきたりの定説
- ④ 母語を話さなければならぬという脅迫観念
- ⑤ 母語とそれを話す人々に対する歪んだ考え方

〔問五〕

空欄

A

に入る最も適切な文章を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 多言語社会を忌み嫌う
- ② バイリンガルになれない
- ③ 人種差別の火種になりうる
- ④ 周囲の接し方によっては、ことを忘れる
- ⑤ 人は誰でも状況や環境次第で、多言語話者になる

〔問六〕

傍線部(4)「含意」の辞書的語義として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① その時の表現に、特別に持たせた意味
- ② 言い表されたこととは裏腹な意味
- ③ 含蓄のあるすぐれた表現
- ④ 詭弁とも言える表現
- ⑤ 言外に刻み込まれた悪意

〔問七〕

傍線部(5)「言語共同体の主流」とは、ここでは具体的に何を指すか。次の①～⑤の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 近代の言語イデオロギー
- ② 日本帝国
- ③ 言語の選択
- ④ 日本語とドイツ語
- ⑤ バイリンガルな人間

〔問八〕

傍線部(6)「特別な意味」とはどのようなことか。次の①～⑤の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 東南アジアのような多言語共同体は滅亡の危機にある。
- ② 東南アジアで生まれれば母語を持たない場合もある。
- ③ 母語を持たない民族がこの世に存在しうる。
- ④ 多言語社会は尊敬されるべきである。
- ⑤ 一国一言語は当たり前のことである。

〔問九〕

空欄

B

に入る最も適切な言葉を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① サプライズ
- ② イデオロギー
- ③ カテゴリー
- ④ テクノロジー
- ⑤ ジレンマ

〔問十〕 次の①～⑤の中から、本文の内容と合っているものを一つ選びなさい。

- ① 筆者の南アジア体験は、筆者が学んだ近代言語学の正しさを証明することになった。
- ② かつて帝国を誇っていた日本とドイツは世界の多言語社会を排斥しようと目論んでいる。
- ③ 筆者が体験した南アジアでは、一つの民族が複数の言語を話すのは特別なことではない。
- ④ 渋谷氏によれば、言語の消滅やモノリンガルの発生は、バイリンガルの阻止するものである。
- ⑤ 多言語社会では、自分が生まれ育った国の言語を話すしか選択の余地がない。

〔問十一〕 原文の中から、次の文章が抜き取られてある。この文章があった場所として最も適切なものを、後の①～⑤の中から一つ選びなさい。

その後、四歳の娘を伴ってカトマンズで二年間暮らすことになった。娘は見る見るうちにネパール語と英語をしゃべり始め、帰国する頃には私が学生時代に驚嘆して眺めていた立派な多言語話者となり、場と相手と状況に応じて見事にことばを使い分けるようになっていた。

- ① Iの切れ目
- ② IIの切れ目
- ③ IIIの切れ目
- ④ IVの切れ目
- ⑤ Vの切れ目



【二】 次の文章を読み、後の問い（問一～十）に答えなさい。

中年以後の人の心をずっと前から書きたいと考えていた。つまり青くない<sup>(a)</sup>、幼稚でない<sup>(b)</sup>人の心を、である。もちろん誰の心にも部分的に、いい年をして子供の時のまま、という部分は残っている。しかし聖書の中で聖パウロは、いみじくも<sup>(b)</sup>子供であることと、子供っぽいこととの違いをはっきりと衝いている。

「物の判断については子供となつてはいけません。悪事については幼子となり、ものの判断については大人になってください」(コリント人への手紙一 14:20)

これからも、私は<sup>(1)</sup>ときどき聖書を引用することがあるかもしれないが、それは聖書を引合に出して誰かを説教しようというのではない。私はカトリックの学校に育つて伝典を知らないものだから、時々仕方なく聖書を引用する他はないのだが、多分聖書を引く時には、こんなにもおもしろい意外なことを言っていますよ、と説教とは反対の目的を持つ内容にふれたい時なのだろう、と思う。

日本の教育は、物の判断については大人になれ、ということさえ教えなかった<sup>(c)</sup>節がある。どんなに年をとつても、子供の如き純粹さを残している人がいいのだ、の一点張りであった。

その点、聖書はそうではない。子供っぽさをやめて、ちゃんと大人の見方をするのがいいのだと容認している。それは、平つたく言えば、複雑な見方をできるようになる能力のことだ。

聖書は、次のように要点を押さえている。悪いことをするという点については、子供のようでありなさい、というのだ。例外はあるかもしれないが、通常子供は銀行強盗をしない。いやこの頃のませた子供はもし機関銃が手に入れば銀行を襲うかもしれないが、手形詐欺、インサイダー取引、ハイジャックなどはやはり子供にはできないのである。だから犯罪に関しては子供のようにあるべきだ。

しかしものの考え方については、子供っぽくあつてはならない……。聖書の勉強をした時、私は、<sup>(2)</sup>「子供らしくはあつても、

子供っぽくはいけない」と習ったのである。

私は不仲な親の元で、火宅<sup>(d)</sup>としか思えない家庭に育ったので、幼い時から、人並み外れてまかせていた。子供の時から、子供らしくなかった。こういうねじれはよくない。子供の時は子供らしく、大人になったら大人の考えができる人がいいのだ。しかし私は何でもものごとをいい方に考える。私は早く大人っぽくなったので、大人になってからは便利だった、と思うことにしている。

何歳から大人と思うべきか、ということになると、私はよくわからない。私はまかせてはいたが、二十代にはほとんどものにものを見る力はなかった。その一つのいい例は、当時の私は、今ほど新聞をおもしろいものとは思えなかったのである。新聞は誰にでも買えるが、それを読みこなすのは自分の力である。今だって私は経済欄を理解する力は十分でないが、それでも二十代と比べると、外国のニュースでも政治面でも、自分の眼で新聞の記事を読むようになった。

青春はすばらしいものだ、と私は口先では迎合<sup>(e)</sup>して時々そう言うこともあるのだが、よく考えてみると、内心では全くそう思っていない。私の感覚<sup>(f)</sup>では、青春<sup>(3)</sup>にはどこか「ものほしげ」などところがある。進路も決まらず、異性の存在には敏感にびりびりし、途方<sup>(g)</sup>もなく思い上がったたり、やたらに自信を失ったりしている。ところが我々は思い上がるほどの能力も、喪失<sup>(h)</sup>するほどの自信や才能も、初めから持つてはいないのだから、そういう意気込み方は何となく気恥ずかしいというものだ。

どこからを中年というのか。このごろ、一般に人は年を取らなくなった。栄養がいいから、活動能力が保つのだという人もいるが、別の言い方をすると、いつまでもおくてのままなのかもしれない。

だから青春は三十代の初めまでは続く、四十代だってまだ D C だ、などと言っている人もいないではないが、私は一応三十代の半ばからは D だという感じがしている。そして終わりは五十代までだと、常識としては思う

のだが、これにもまた反対を唱える人がいて、六十代は洩垂<sup>(i)</sup>れ小僧だなどと、落着きの悪いことを言う。あんまり若ぶつたことは言わない方がいいのではないか、と私は思うのだが。

<sup>(4)</sup>それはまあどうでもいい。体験的に言って私が或<sup>(a)</sup>る人に興味を持ち出すのは、ほとんど E 以後だ。青春時代

には、たいていの人が、どんな秀才でも、人間の持ち味が浅いのである。しかし中年になると、何となく複雑な味のある人になっていくことはよくあるのだ。中年になってやっと人は「人間」になるのだろうか。

若い時の人間の思考は、そういえば単反射である。失恋は失恋だ。失恋してよかったのかもしれない、などと考えられる人は、まずあまりいない。学問的に優秀な人はいくらでもいるだろう。自分が教えている大学の大学院の試験の問題を見たら、難しくて解けるかと思った、という世界的に有名な教授に会ったこともある。そういう学問的な知識なら十分に持ち合わせている若者は

F

のである。

（曾野綾子『中年以後』より）

〔問二〕 二重傍線部(カ)～(コ)の漢字と同じ読み方をする漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中から、それぞれ一つずつ選びなさい。

- |     |    |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|-----|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| (カ) | 幼稚 | ① | 辞世 | ② | 摂政 | ③ | 夭折 | ④ | 湯治 | ⑤ | 遅延 |
| (キ) | 純粹 | ① | 付随 | ② | 自炊 | ③ | 下肢 | ④ | 随法 | ⑤ | 趣意 |
| (ク) | 感覺 | ① | 刺客 | ② | 脚注 | ③ | 産額 | ④ | 三脚 | ⑤ | 解党 |
| (ケ) | 途方 | ① | 度量 | ② | 先途 | ③ | 外様 | ④ | 同朋 | ⑤ | 土建 |
| (コ) | 喪失 | ① | 憎悪 | ② | 模倣 | ③ | 繁茂 | ④ | 双頭 | ⑤ | 贈答 |

〔問二〕 波線部(a)～(e)の言葉がここで表現しようとしているものとして最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中から、

それぞれ一つずつ選びなさい。

(a) 青くない

- ① 中年っぽくてみずみずしさを失ってしまったような。
- ② 若輩者ではなく大人としての。
- ③ 悟りを開いた老人のような。
- ④ いい年をして子供のままのような。
- ⑤ 幼児のような心を大人になるまで持ち続けたような。

(b) いみじくも

- ① 聖パウロはまるで幼子のようなのである。
- ② 聖パウロは聖書の中で裏腹なことを述べている。
- ③ 聖パウロは聖書の中で言い訳じみたことを述べている。
- ④ 聖パウロは中年っぽい一面がある。
- ⑤ 聖パウロが聖書の中で言っていることは適切である。

(c) 節がある

- ① 教えなかったのはもったもななことである。
- ② 教えなかったのは事実である。
- ③ 教えなかったと断定されている。
- ④ 教えなかった。
- ⑤ 教えようとしなかった感がある。

(d) 火宅

- ① 火事になって焼けてしまった家。
- ② 一家離散した家庭。
- ③ 貧しさの極みにあった家庭。
- ④ 荒れていて安らぎのない家庭。
- ⑤ 不遇ながらも安堵に満ちた家庭。

(e) 迎合して

- ① 苦しいことつらいことを受け入れて。
- ② 口先では調子のいいことを言いながら。
- ③ 本当はそう思っていない相手にも相手に合わせて。
- ④ 表面的には聖人のように振る舞って。
- ⑤ 大人として我慢しながら。

〔問三〕

傍線部(1)「私はときどき聖書を引用することがあるかもしれない」とあるが、筆者がそう思う理由として最も適切  
なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 聖書を引用して説教したい時があるから。
- ② 仏教については知識が皆無だから。
- ③ 説教とは反対の目的を持つ内容にふれたい時があるから。
- ④ 聖書をこよなく愛しているから。
- ⑤ 自分の気持ちに反して、他人に言いたいことを言えないことがあるから。

〔問四〕

傍線部(2)「子供らしくはあっても、子供っぽくてはいけない」とあるが、その意味として最も適切なものを、次の

①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 子供のように活発でなければならない。
- ② 子供らしい大人にならないといけない。
- ③ 子供は子供でも、純粹でなければならない。
- ④ 大人になっても、子供のような純粹さが必要だ。
- ⑤ 子供のように純粹ではあっても、未熟ではいけない。

〔問五〕

傍線部(3)「青春」の側面として適切でない例を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① やたらと迎合する。
- ② 進路が決まらない。
- ③ 異性に敏感になる。
- ④ 強く思い上がる。
- ⑤ 自信喪失をする。

〔問六〕 傍線部(4)「それ」が指すこととして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 若ぶったことは言わない方がいいと思う。
- ② 青春は五十代までだ。
- ③ 筆者の意見に反対する人がいる。
- ④ 落着きの悪いことを言う。
- ⑤ 六十代はまだ涙垂れ小僧だ。

〔問七〕

空欄

C

D

E

合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。  
には、「青春」ないし「中年」という言葉が入る。その組み

- |   |    |   |    |   |    |   |
|---|----|---|----|---|----|---|
| ① | 青春 | C | 青春 | D | 中年 | E |
| ② | 青春 |   | 中年 |   | 中年 |   |
| ③ | 青春 |   | 中年 |   | 青春 |   |
| ④ | 中年 |   | 中年 |   | 青春 |   |
| ⑤ | 中年 |   | 青春 |   | 青春 |   |
| ⑥ | 中年 |   | 青春 |   | 中年 |   |

〔問八〕

空欄

F

に入る言葉として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① そうやすやすとは見つからない
- ② 人ごみに埋もれている
- ③ 馬鹿げたことは言わないでいる
- ④ けっこうたくさんいる
- ⑤ 損得勘定にとらわれやすい

〔問九〕

次の①～⑤の中から本文の内容と合わないものを一つ選びなさい。

- ① 筆者はカトリックの学校で学んだものだから、時々仕方なく聖書を引用する。
- ② 聖書は、悪事については子供っぽいことを肯定し、大人の見識を持つように勧めている。
- ③ 筆者は、今の年になって、自分なりの見方で新聞を読むようになった。
- ④ 人は中年になって初めて複雑な味を持ち、やっと「人間」になるのだろう。
- ⑤ 若い人の思考は単反射で、失恋をした時も逆に良かったと思うものだ。

〔問十〕

次の①～⑥の作品の中から、曾野綾子のものを一つ選びなさい。

- ① 『砂の上の植物群』
- ② 『沈黙』
- ③ 『金閣寺』
- ④ 『ノルウェイの森』
- ⑤ 『火宅の人』
- ⑥ 『神の汚れた手』



# 【解答例】

入試年度 : 2020  
入試種別 : 推薦入学選考  
Ⅱ期  
科目 : 国語

| 問No. | 解答番号 |
|------|------|
| 1    | 4    |
| 2    | 3    |
| 3    | 1    |
| 4    | 5    |
| 5    | 3    |
| 6    | 5    |
| 7    | 1    |
| 8    | 4    |
| 9    | 5    |
| 10   | 1    |
| 11   | 4    |
| 12   | 5    |
| 13   | 2    |
| 14   | 3    |
| 15   | 2    |
| 16   | 5    |
| 17   | 2    |
| 18   | 1    |
| 19   | 3    |
| 20   | 4    |
| 21   | 2    |
| 22   | 5    |
| 23   | 5    |
| 24   | 4    |
| 25   | 3    |

| 問No. | 解答番号 |
|------|------|
| 26   | 3    |
| 27   | 5    |
| 28   | 1    |
| 29   | 1    |
| 30   | 2    |
| 31   | 4    |
| 32   | 5    |
| 33   | 6    |
| 34   | —    |
| 35   | —    |
| 36   | —    |
| 37   | —    |
| 38   | —    |
| 39   | —    |
| 40   | —    |
| 41   | —    |
| 42   | —    |
| 43   | —    |
| 44   | —    |
| 45   | —    |
| 46   | —    |
| 47   | —    |
| 48   | —    |
| 49   | —    |
| 50   | —    |